

2020 入試口腔保健学科小論文

出題意図

問題Ⅰ（衛生専攻、工学専攻共通問題）

生物学における発見が、工学分野にも、さらに社会生活にも応用可能な生きた知識となることを捉え、簡潔に自分の言葉で文章化する能力を問う。

設問 1

生物が持つ素晴らしい「ゆらぎ」制御に着目し、ロボット制御への応用をわかりやすく説明できるか否かを問う。

（採点のポイント）

- a. 論理正しく記載されているか
- b. 「ゆらぎ」の原理が説明できているか
- c. なぜロボット制御に応用すると奏功するかが記載されているか

設問 2

生物から発見された「ゆらぎ」の原理が社会生活に応用可能であることを、自身の体験談を交えて記載する。

筆者が語ろうとする社会生活における「ゆらぎ」の真意を捉え、論理正しく記載できる能力はもちろんのこと、自身の経験と筆者の考え方との相違点を説明できる能力を問う。

（採点のポイント）

- a. 論理正しく記載されているか
- b. 社会における「ゆらぎ」の意味を捉えているか
- c. 自分自身の体験が記載されているか
- d. 自身の経験と筆者の考え方との相違点が記載されているか

社会における「ゆらぎ」の一つの捉え方：

社会においても家庭においても、相手の責任分担を無視して、すべてを細かく指示すると生物が持つ「ゆらぎ」制御とかけ離れてしまう。一つの目的を達成したときに喜びあえるように、お互いの自律性と柔軟性を認め合う関係を社会における「ゆらぎ」と捉えている。

口腔保健学科 小論文

問題Ⅱ 出題意図

設問 1

文章と表の読解力と科学的思考に必要な基本的計算能力を図る

設問 2

文章の読解力と限られた文字数で筆者の考えを説明する能力を図る

設問 3

文章の読解力と自分の考えを論理的に記述する論理構成力を含めた文章表現力を図る